

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グリーフホームふれあい稲田1	評価実施年月日	平成20年8月10日
評価実施構成員氏名	酒井勝代 伊藤美緒 鬼島町子 西畑いづみ 永田加奈子 村上沙由梨		
記録者氏名	酒井勝代	記録年月日	平成20年8月20日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>会社独自の運営理念があり、スタッフルームの目に見える場所に掲示しています</p>		
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念を書いた紙をスタッフルームに貼り実践に向けて日々取り組んでいます</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>ふれあい便りを発行し、家族へは郵送し、町内会には回覧板にて読んで頂き少しでも理解して頂ける様取り組んでいます</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>夏祭りなど、ホームの行事の際、案内の紙を回覧したり、呼びかけ等しています</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>ふれあい便りを2ヶ月に1度発行しており、町内会にも回覧しています。また夏祭りなどの行事の際に近隣住民へ挨拶に回るなどしています</p>	○	<p>今後さらに地域の方と交流ができる様取り組んでいきたい。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>取り組みには至っていません</p>	○	<p>今後取り組んで行ける様検討していきたいと思っています</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価された事を スタッフ会議等で話し合い改善に努めています	○	前回指摘がありました事について、改善する様努めています
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームの見学、各月の行事の様子、防災訓練等報告し、意見交換しながらサービス向上に努める様取り組んでいます	○	会議の内容や所内会の方の意見を報告書に記載し、又スタッフ会議で報告し意見の反映に努めています
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	必要に応じ電話連絡をしたり、出向き相談する等しています		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	必要時、利用者家族に説明し、それらを活用できる様支援していきたいと思います。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修等の参加、又スタッフ会議にて話をし学ぶ機会を持ち、防止に努めています		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際、内容の説明確認しながら、疑問点等、説明し理解を得る様にしています。解約の際は状況に応じ、家族への支援を行っています。	○	面会時の際、又お便り等で、御家族の不安、疑問などいつでも相談して頂く様伝えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>不満等を何でも言える関係作りを心掛け、訴えがあった時はケース記録に記し、スタッフ全員に伝わる様にし、会議で改善できる様話し合い対策を考える様しています</p>	○	<p>利用者の話をよく聞き納得される対応を心掛けています</p>
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>健康状態については面会時に話したり、必要に応じ電話連絡をしています。金銭管理については毎月おとすかい帳をコピーし、郵送しています</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情相談窓口を明示しています 苦情を受けに際は記録し、スタッフや皆、共有できる様しています</p>	○	<p>日頃から家族が意見や要望を伝えやすい様雰囲気作りに努めています。</p>
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>アンケート調査などを行い、反映できる様努めています。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>入浴日、通院の予定がある時はあらかじめスタッフの人数を多くする様しています。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>異動の決定は本社で行っていますが最少限に抑えながら引き継ぎ期間を設け、利用者へのダメージを防ぐ様配慮しています</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修、勉強会など段階に応じ出席しています	○	受けた研修内容を報告書にまとめスタッフ会議で報告しています。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	グループホーム連絡協議会に入会しており定期的に勉強会など行っています		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	スタッフ会議や親睦会などで話し合うなどしながら軽減できる様になっています		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	個々の努力や実績勤務状況を把握する様努め直接話をし向上心をもって働ける様しています		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に面談、見学を行い不安、困っている事、希望等を本人からよく聴き受け止める努力をしています。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	御家族から相談を受け面談、見学して頂き、困っている事、ホームに対しての希望などを聴く機会をつくり受け止める努力をしています	○	わかりやすく安心して頂ける様説明しています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人とその御家族が必要としている事をよく聴き、今必要としている対応に添う様努めています		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ホームに徐々に馴染める様、家族とも相談しながら場の雰囲気作り等工夫しながら配慮しています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一緒に家事を行ったり、畑作りなど教えて頂いています。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	御家族が面会に来られた際、近況をお知らせし相談等しています		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	お便りや面会に来られた際、御家族の都合を聞きながら行事への参加等の呼びかけをし出来る範囲で関わり、頂ける様支援しています		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人の方や知人の方が面会に来られた際、居室、リビング、食堂などでゆっくりと過ごして頂いています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	スタッフが会話に加ったり、一緒に過ごし間に入る事で利用者同士の交流をとりやすい様に心掛けています。自室にて過ごされる方には声掛け等行っています。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らない付き合いを大切にしている。	入院中の元の所へお見舞に行ったり、亡くなられた際、通夜に足を運んだりしています。	○	他の施設などに行かれた方に行事のお知らせなどし参加を呼びかける等したいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御家族と相談しながら対応しています。	○	スタッフ一人ひとりが御家族とのコミュニケーションをとれる様に心掛け、利用者の暮らしの意向を常に考え出来る範囲で実現できる様努めていきたい。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴は家族の方から聞いたり、書いて頂いた文書を見る又は本人から聞くなどし、それを生かして支援しています。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ケース記録・個人記録等などに記録したりスタッフ間の申し送りなどで総合的に把握する様努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している。	スタッフ会議などで目標を立て行なっています。介護支援専門員、本人、家族、職員で話し合い作成しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月ごとに見直しを行ない作成しています。変化が生じた場合、それぞれ担当者が介護支援専門員に相談し、又会議などで話し合い新たな計画を作成する様にしています		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	1人ひとりの生活をケース記録に記録し、その他バイタルチェック、食事量、睡眠時間など記録し情報を共有し今後の介護計画の見直しに生かしています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	本人、御家族の要望に応じて出来る限り柔軟な対応を心掛けています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の人達との交流はあまりなく、今後理解して頂ける様努めていく必要があると思っています	○	町内会に入会はしているものの、あまり交流がない為、徐々に理解して頂ける様努めていきたい
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	本人家族の意向に応じ、病院のリハビリへ通うなど他のサービスを利用する為の支援をしています		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じ相談させて頂きたいと思っています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者それぞれ かかりつけの病院での定期受診を行っており、相談もさせて頂いています</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>必要と思われる方は御家族と相談し、専門医に受診し相談したり、アドバイスや助言を頂いています</p>		<p>少しでも変化があった事をケース記録や個人生活記録表をむとに医師に相談しています</p>
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>事業所として確保している看護師が週に1度ホームに来っており、日常の健康管理や医療活用の支援をしています</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>各入居者の受診されている医療機関は、入院など受け入れてもらえる体制になっており、情報交換や相談をし、連携しています</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>かかりつけ医に相談、家族との話し合いも行なっています。</p>	○	<p>御本人との終末期について話し合う事はあまり行っていないので、精神的負担がかからない様、話し合っていきたいと思います</p>
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること、できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>入居者の状態を把握し、御家族、担当医と今後に備えて相談し、ホームとして出来る事出来ない事を見極め検討しています</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居室へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	混乱されない様な住み良い環境作りを目指して御家族とも話し合い情報交換を行なっています		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	それぞれの入居者に合った生活ができる様プライバシーを損ねない様な取扱いに努めています	○	スタッフ同志での会話し入居者が自分の事を話しているのではないかと恐われる場面があるので気を付けていきたい
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	入居者がわかりやすい様声掛けをし、出来るだけ自分で決めたり納得し落ち着いて暮らしていける様支援しています		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者との関わる時間を多く持ち、出来るだけ希望にそって支援しています		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	入居者それぞれが本人希望の昔なじりの理容美容室に行ったり、スタッフが髪の毛を切ったりして支援しています		
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人ひとりに合わせてお粥やきざし食など提供しています。片付けや食器拭き等手伝って頂いています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	本人と共に買い物へ行き、好きな物を楽しめる様 にしています。自己管理が出来ない方は、希望 された時にスタッフより渡し支援しています		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄チェック表を用いて把握し、トイレ誘導を 行い、失禁を防ぐ様努めています		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしま わずに、一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて、入浴を楽しめるように支援して いる。	入居者の体調をきつ、1日おきに入浴出来る様 にし時間・温度等を好みに合わせて調整する 様支援しています		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の方 況に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している。	自室のベッドで休まれたり、近くにスタッフがいる 安心感の中、リビングのソファで横になり、休んで 頂いています		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよ うに、一人ひとりの生活歴や力を活かした 役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしてい る。	買い物や散歩、外食などの他にも、縫い物や ぬり絵などの生活歴・趣味を活かした活動 を支援しています		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支援 している。	自己管理できる方は各自所持されています 買い物なども積極的にお手伝いさせて頂いて います。他の方はホームで預り、使う際に渡して います		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	日中、散歩へ行ったり、買い物へスタッフと共に 行ったりしています	○	あまり外出する機会がない方や外出に 積極的でない方には畑を見に行く等 声掛けする様したいと思います
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けない ところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支援 している。	希望がある際、その都度 スタッフが一 緒に出掛けたり、又 バス遠足など行事の際に 皆で外出出来る様しています		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支援を している。	カウンターに電話機が置いてあり、自ら好きな 時にかける様 支援しています		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人 たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地 よく過ごせるよう工夫している。	御家族・友人等 いつでも気軽に訪問でき 居室・リビング・食堂などで居心地よく過ごせる 様にしています		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法 指定基準における禁止の対象となる具 体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束 をしないケアに取り組んでいる。	研修等に参加し、又 スタッフ会議などで話しをし 皆で身体拘束をしないケアに取り組んでいます		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	ドアにフッターを付け、基本日中は鍵を掛 けませんが不穏な入居者の方から、納得されず やむを得ない場合は一時的に入り口ドアに 鍵をかける時もあります		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	リビングや台所、カウンターに スタッフが必ずいる様にしています。日中・夜間 時間を決めて各部屋の見回り、声掛け等行ない安全に過ごして頂ける様 配慮しています		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	保管場所を決めて徹底し、状況を見ながら必要に応じて対応しています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故報告書・ヒヤリハット報告書をまとめ、再度同じ事故がこない様 スタッフ会議などで検討し事故防止に取り組んでいます		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	全ての職員ではないが 普通救命講習に参加し、又1年に2回 火災訓練を行なっています	○	利用者が行方不明等になった際 残ったスタッフの対応方法 再度確認してきたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	スタッフ全員が 避難訓練に参加できるようにしています。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	その都度 御家族と話し合い対応策を考えます		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日バイタル測定を行なっています。食事量のチェック等記録し特変ある場合など細くケース記録に記入し報告しています。スタッフ間でも情報の共有に努めています		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとり内服薬のファイルに病院からもらった薬の内容を入れ、いつでも見れる様にしてあります。変更があった場合は申し送りノートに記入しています		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分の摂取の少ない方など声掛けし飲んで頂いています。おなかのマッサージを行なっている方もいます		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	介助にて口腔ケアを行なっている方、声掛けにて行なっている方もいます。入れ歯洗浄は週2回行ない支援しています		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事チェック表にて記録し一人ひとりに応じた支援をしています。好き嫌いや食事量が少なく栄養が乏しい方にはラコールなどで栄養を補って頂いています		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルがあり取り組んでいます。 インフルエンザは毎年行なっています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	手洗い・消毒・調理用具等の消毒、食材に対しても賞味期限などに十分気を付ける様努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関外にはスロープ、手すりがついています。花なども置いています。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには季節に合わせた手作りカレンダーや写真など貼っています。日射しの調節(リビング等)テレビの音量、会話のトーンも気を付ける様にしています。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングでは気の合った同僚ソファに座られてお話しされたり食卓では新聞を読まれたり自由に使用されています。		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者の居室はそれぞれ独自の環境の中で、こち良く安心して暮らす生活空間になっています。仏壇を置かれたり、今まで使われていた家具など使用されています。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	こまめに窓の開閉をし換気に努め季節によって加湿器等使用し状況に応じて行なっています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>85 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。</p>	<p>居室・トイレ・廊下・浴室に手すりを設置しています</p>		
<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>86 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>各居室 出入口に名前を貼るなどして混乱されない様にしていきます</p>		
<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>87 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>建物の外回りに畑を作り、利用者の方にも手入れ、収穫等楽しくお手伝い頂く様にしていきます</p>		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある <input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ○ ③たまに ④ほとんどない
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98 職員は、生き生きと働いている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

一人ひとりの個性を生かし、利用者さんが自立した生活を営んでいる事を
実感して頂ける様に取り組んでいます。